

胆江地区歯科保健データ集

— 平成30年度 —

一般社団法人

奥州歯科医師会

目 次

1 .	歯科保健目標との比較	- 1 -
2 .	1.6歳児、3歳児検診	
	① 1.6歳児 歯科検診結果	- 2 -
	② 3歳児 歯科検診結果	- 3 -
3 .	小学校 検診結果	
	① 水沢 小学校 検診結果	- 4 -
	② 江刺 小学校 検診結果	- 5 -
	③ 金ヶ崎町 小学校 検診結果	- 6 -
	④ 胆沢 小学校 検診結果	- 7 -
	⑤ 前沢 小学校 検診結果	- 8 -
	⑥ 衣川 小学校 検診結果	- 9 -
	⑦ 小学校別 未処置歯所有者率	- 10 -
	⑧ 小学校別 う歯有病者率	- 11 -
	⑨ 小学校別 DMFT	- 12 -
4 .	中学校 検診結果	
	① 中学校別 未処置歯所有者率	- 13 -
	② 中学校別 う歯有病者率	
	③ 中学校別 DMFT	
5 .	自治別 検診結果	
	① 自治別 小学校 検診結果	- 14 -
	② 自治別 中学校 検診結果	- 15 -
6 .	1.6歳児～中学3年までの年代別推移	
	① う蝕有病者率	
	・ 水沢、江刺、金ヶ崎町	- 16 -
	・ 胆沢、前沢、衣川	- 17 -
	② むし歯本数	
	・ 水沢、江刺、金ヶ崎町	- 18 -
	・ 胆沢、前沢、衣川	- 19 -

歯科保健目標との比較

■ イー歯トープ 8020 プラン(2014-2022)

目標項目

・3歳児でむし歯がある者の割合の減少 現状値(H24) 26.5% 目標値(H34) 14%

30年度 胆江地区: 1.6歳児 1.2%、3歳児 13.3%

29年度 岩手県: 1.6歳児 1.5%、3歳児 18.7%

・12歳児で永久歯のむし歯がある者の割合の減少 現状値(H24) 38.77% 目標値(H34) 28%

30年度胆江地区:36.03%、岩手県34.9%、(全国):32.72%

12歳児における1人平均むし歯の本数

30年度胆江地区:0.82歯、岩手県0.8歯、(全国):0.74歯

■ 健康日本 21

3歳児におけるう歯のない者の割合の増加

目標値:3歳児におけるう歯のない者の割合 80%以上

基準値:う歯のない者の割合 3歳児59.5%(平成10年3歳児歯科検診)

12歳児における1人平均う歯数(DMF 歯数)の減少

目標値:12歳児における1人平均う歯数(DMF 歯数) 1歯以下

基準値:1人平均う歯数 12歳児2.9歯(平成11年学校保健統計調査)

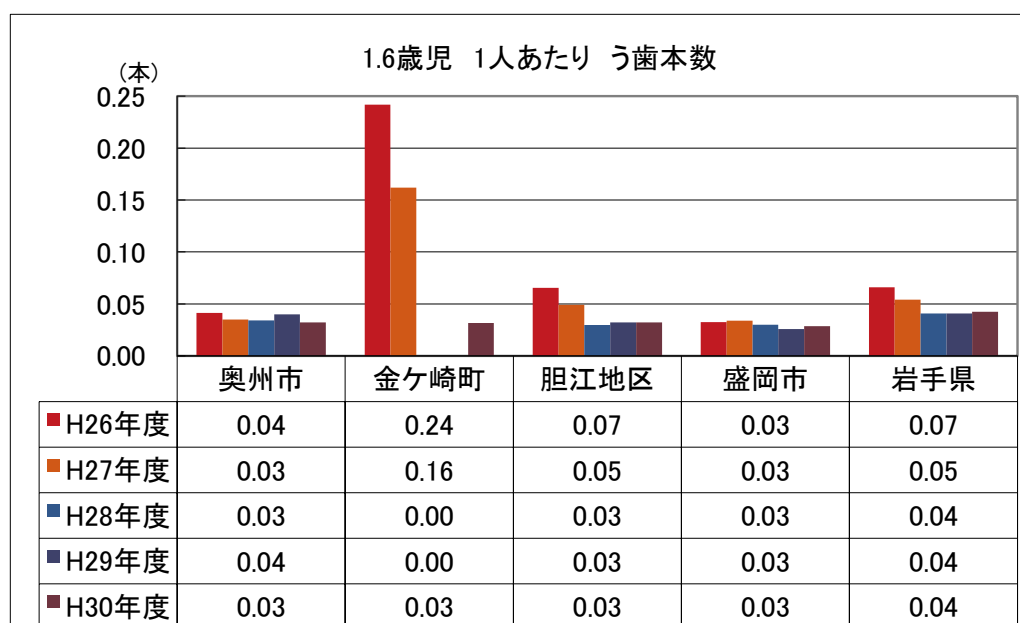
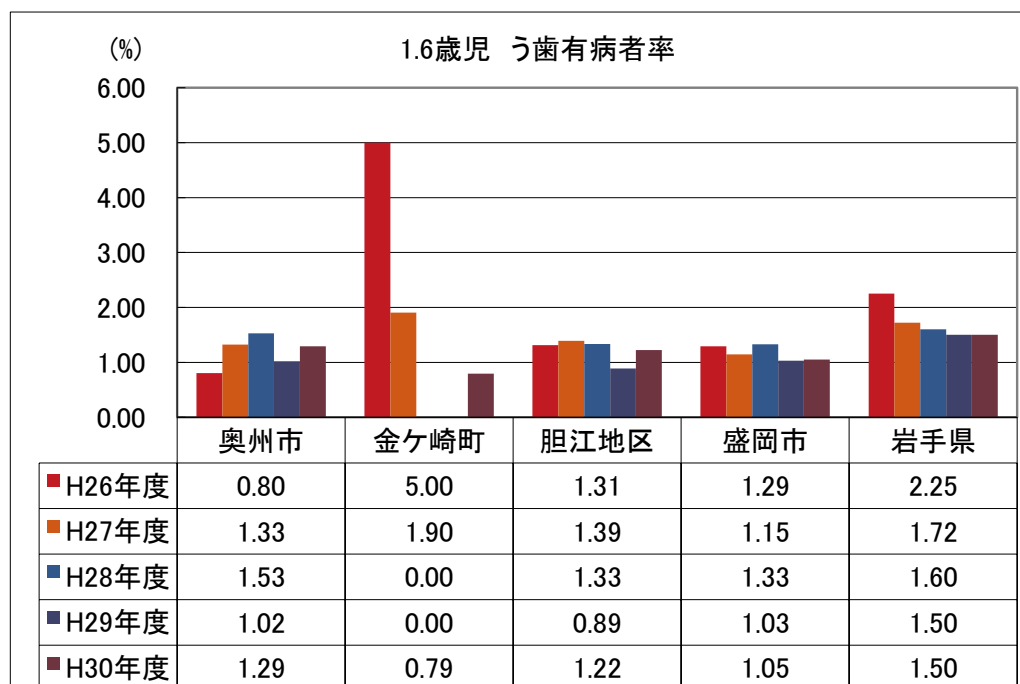
■ WHO 西暦 2025 年の目標

- ① 5歳児の90%以上がう蝕にならないこと
- ② 20歳の時点で90%の人がう蝕のコントロールされた状態、すなわち完全に治療がされた状態となること
- ③ 90%以上の人に破壊性のう蝕がないこと
- ④ 75%の人が歯科疾患の原因を知り、歯科疾患の予防とセルフケアが可能となり、自己点検ができる状態となること
- ⑤ 世界的なデータベースが作られ、個人、地域、国レベルでの歯科保健状態の評価がされ、医療経済の状態を評価するシステムが構築される

1.6歳児 歯科検診結果 (平成30年度)

*岩手県は29年度データとなります

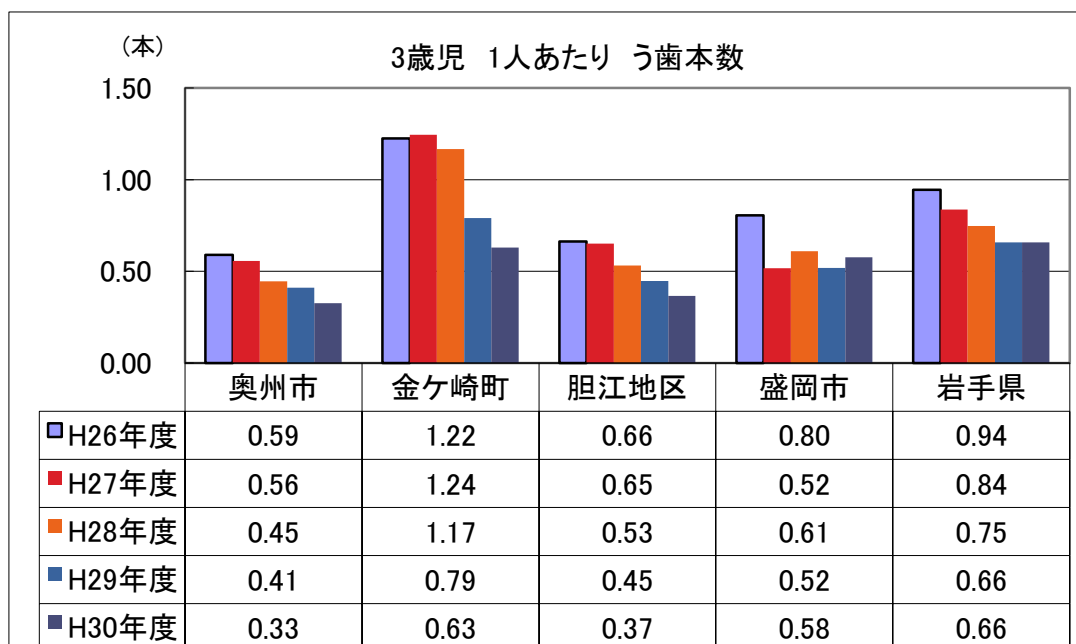
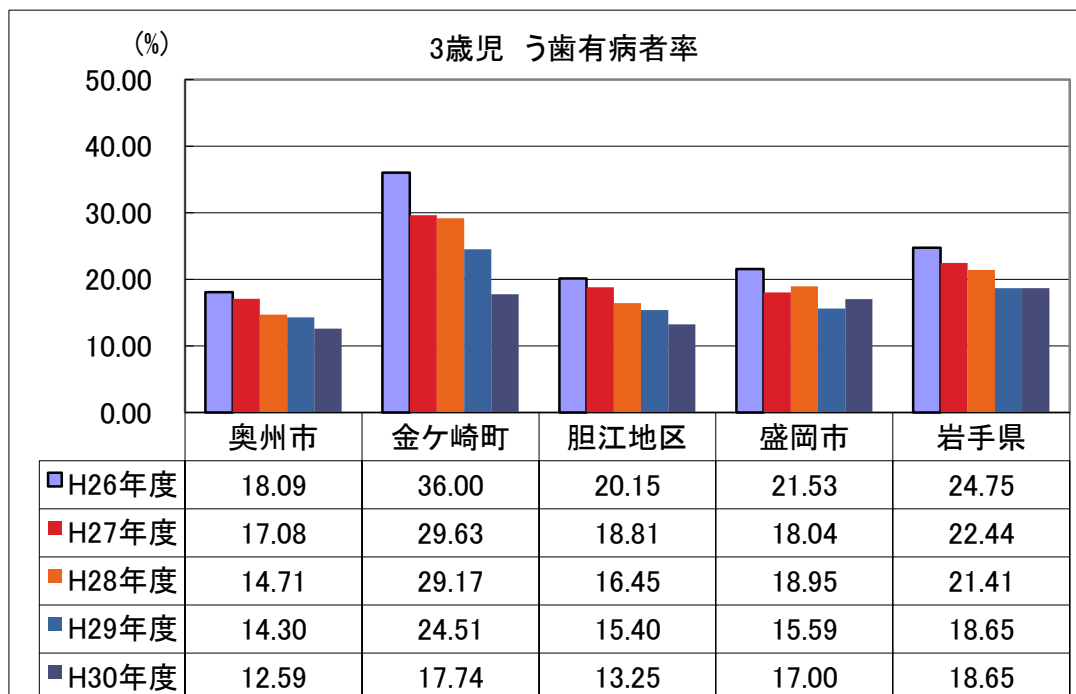
H30年度	健診受診者	むし菌のある者	う歯有病者率	むし菌総数	1人あたり本数
奥州市	774	10	1.29	25	0.03
金ヶ崎町	126	1	0.79	4	0.03
胆江地区	900	11	1.22	29	0.03
盛岡市	2,099	22	1.05	60	0.03
岩手県	8,404	126	1.50	357	0.04



3歳児 歯科検診結果 (平30年度)

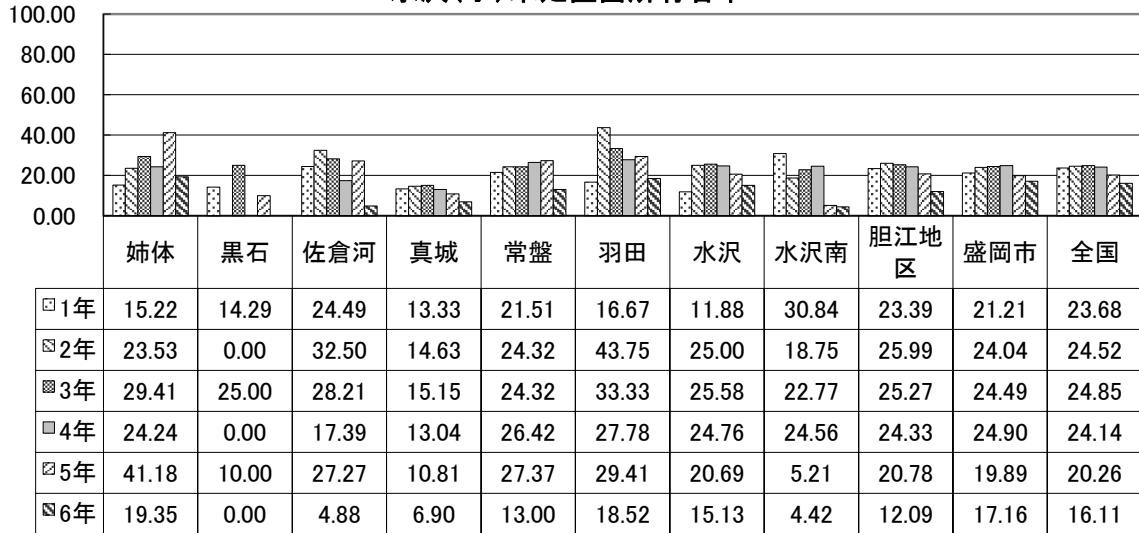
* 岩手県は29年度データとなります

H30年度	健診受診者	むし歯のある者	う歯有病者率	むし歯総数	1人あたり本数
奥州市	842	106	12.59	275	0.33
金ヶ崎町	124	22	17.74	78	0.63
胆江地区	966	128	13.25	353	0.37
盛岡市	2,317	394	17.00	1,334	0.58
岩手県	8,793	1,640	18.65	5,787	0.66

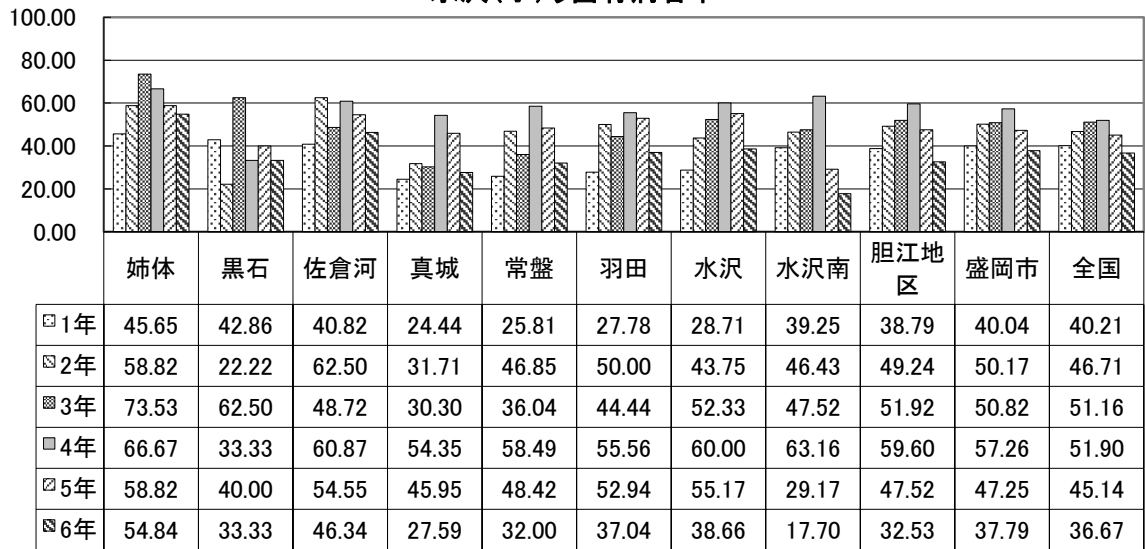


学校別(小)

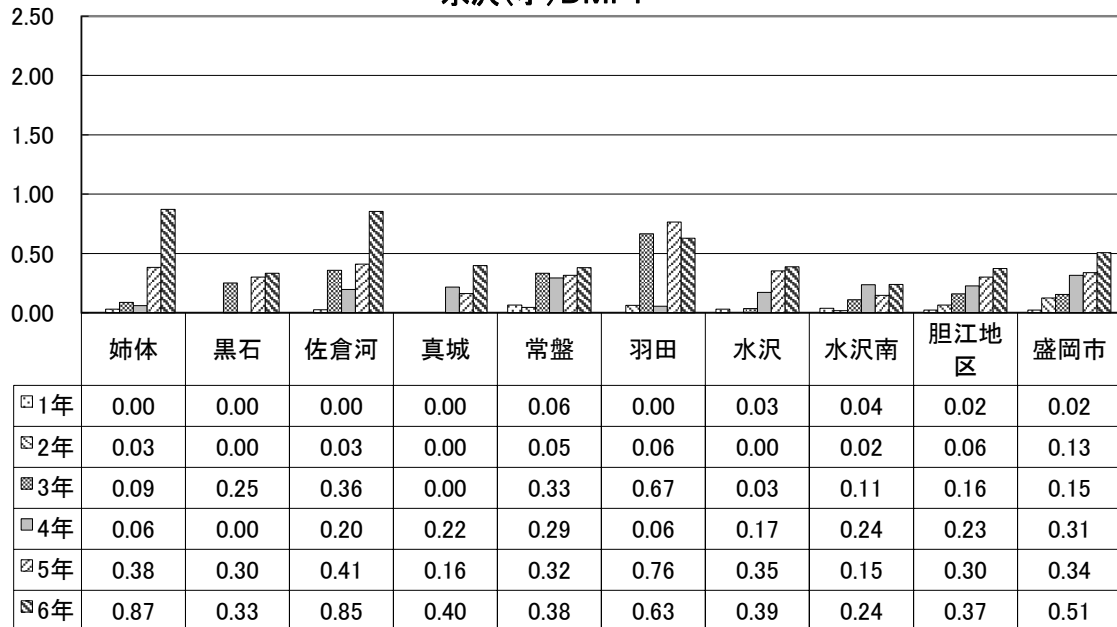
水沢(小)未処置歯所有者率



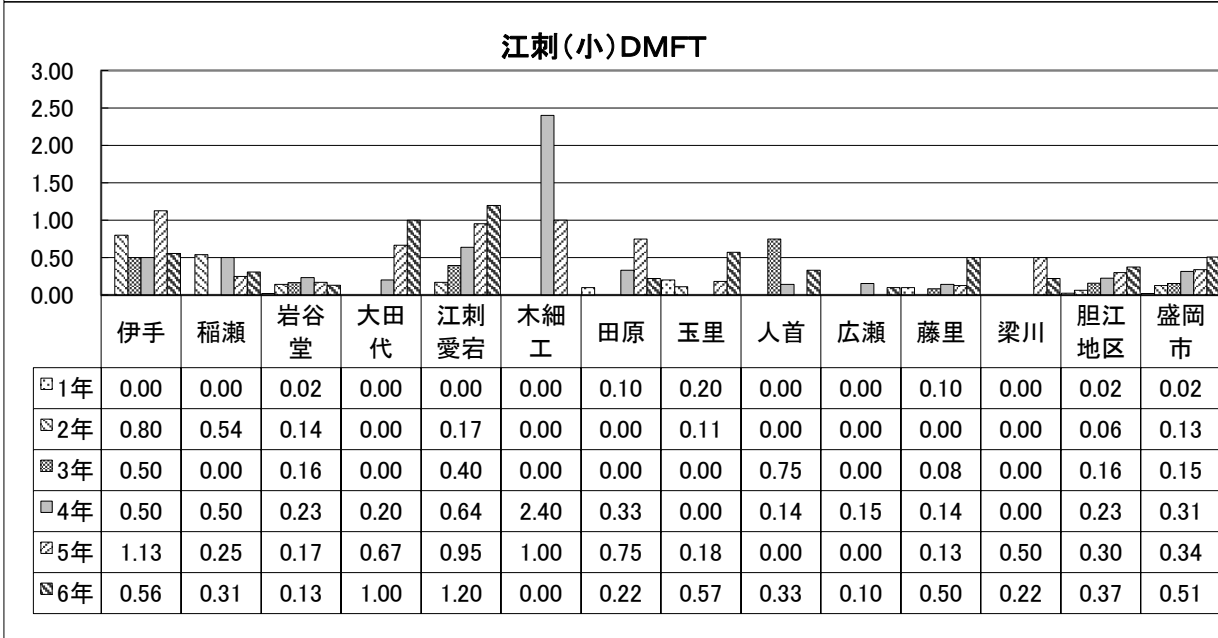
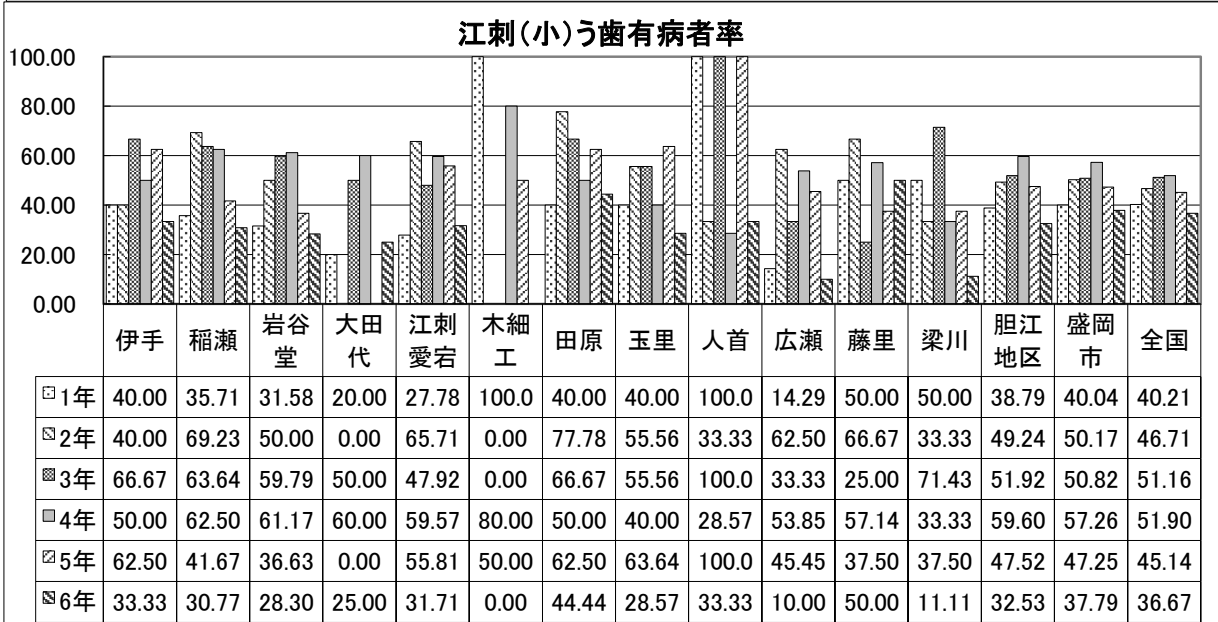
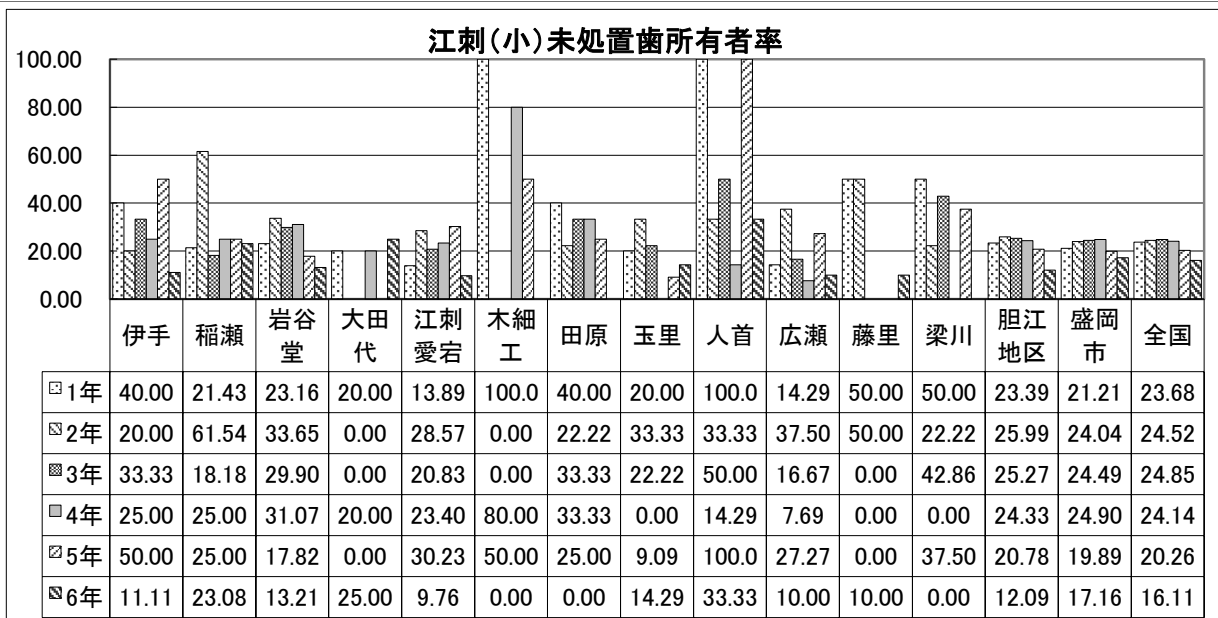
水沢(小)う歯有病者率



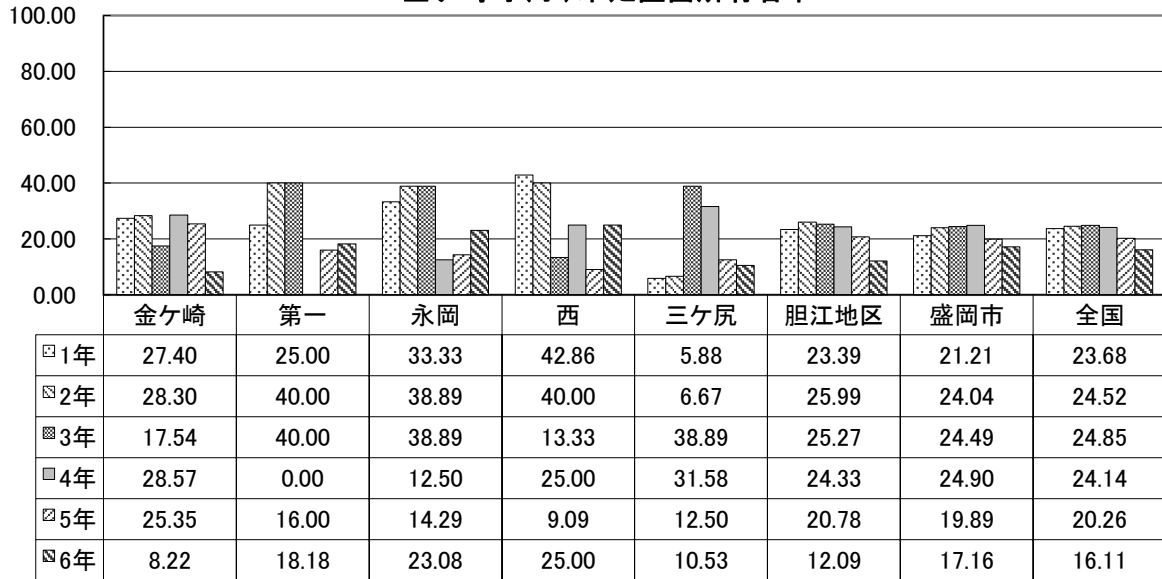
水沢(小)DMFT



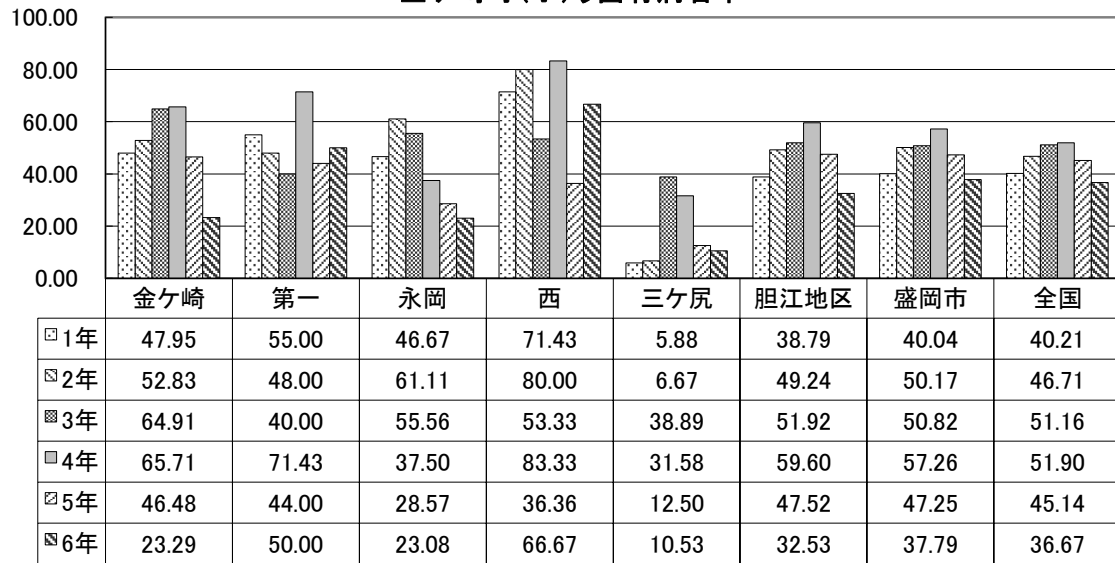
学校別(小)



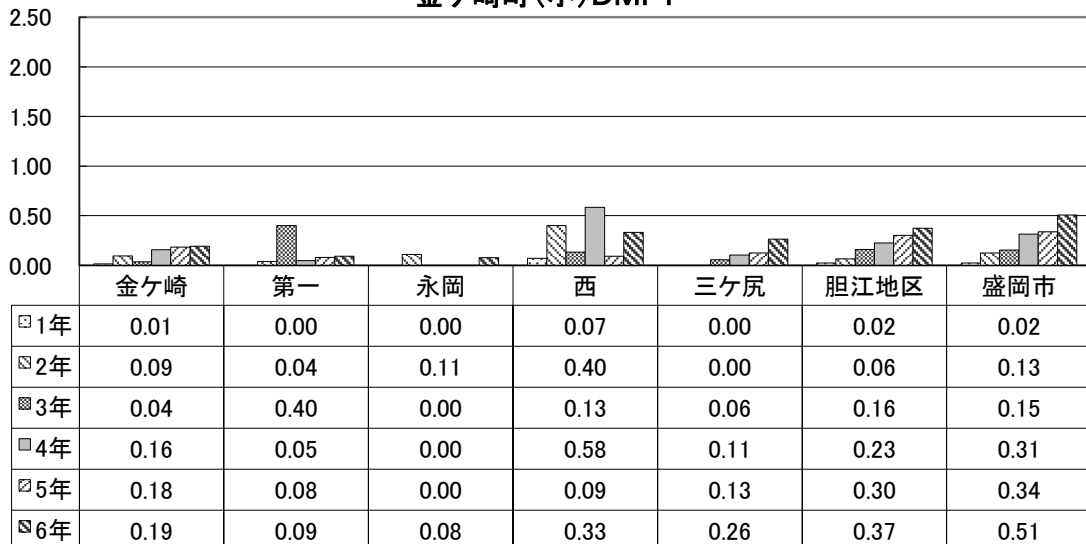
金ヶ崎町(小)未処置歯所有者率



金ヶ崎町(小)う歯有病者率

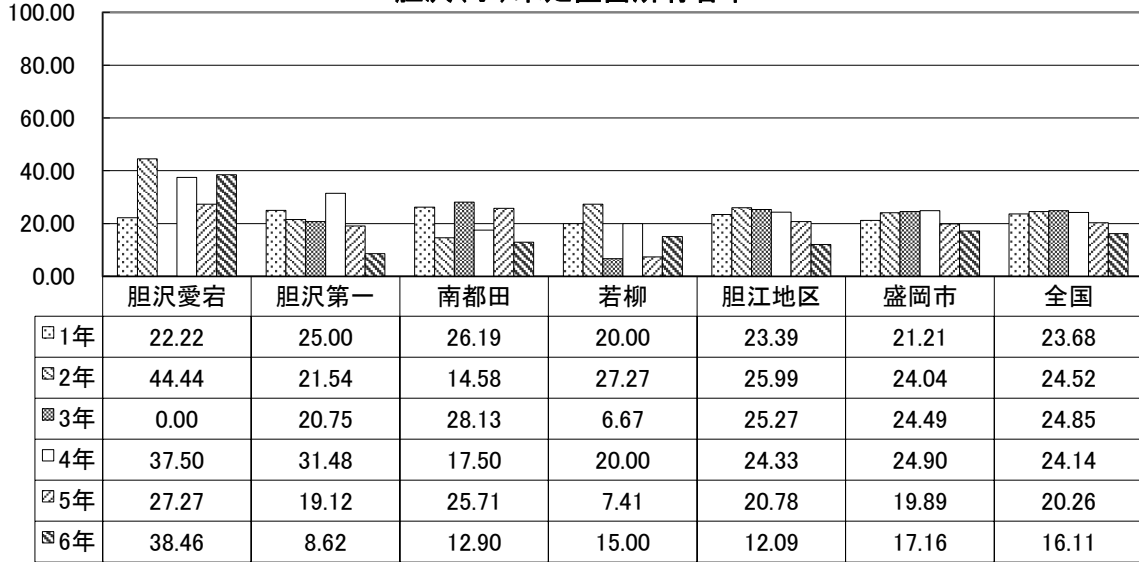


金ヶ崎町(小)DMFT

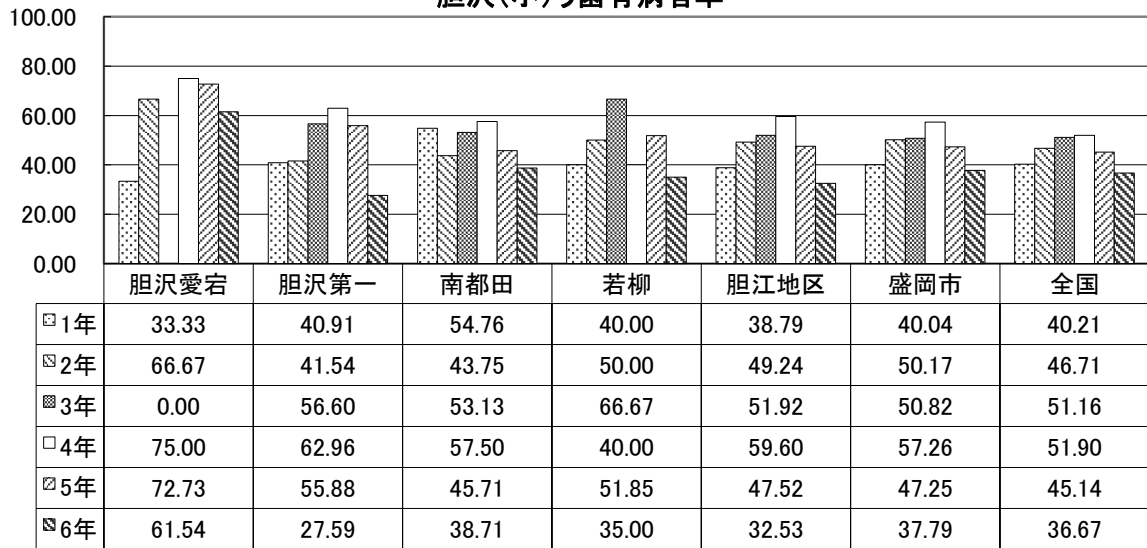


学校別(小)

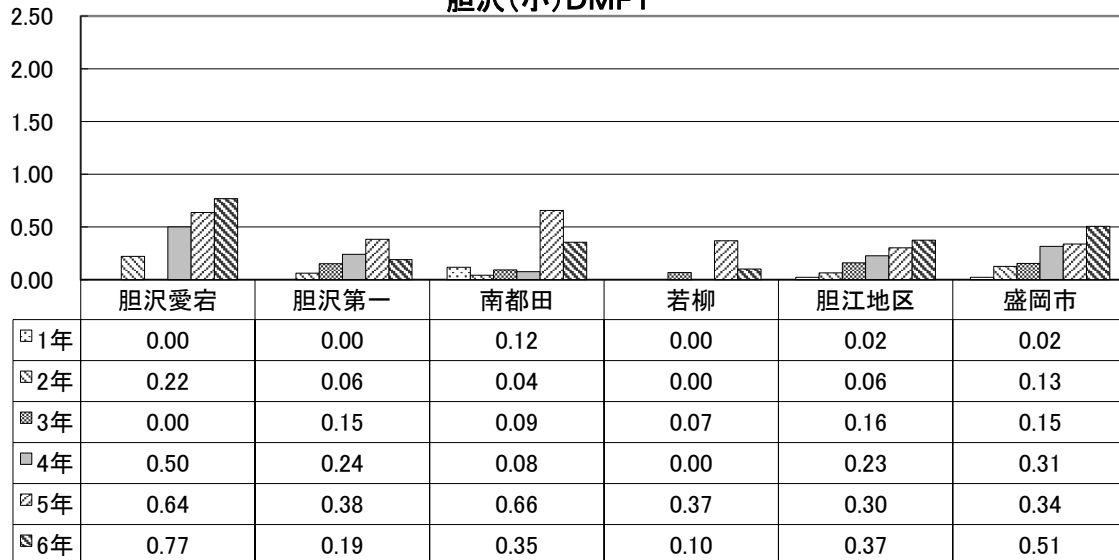
胆沢(小)未処置歯所有者率



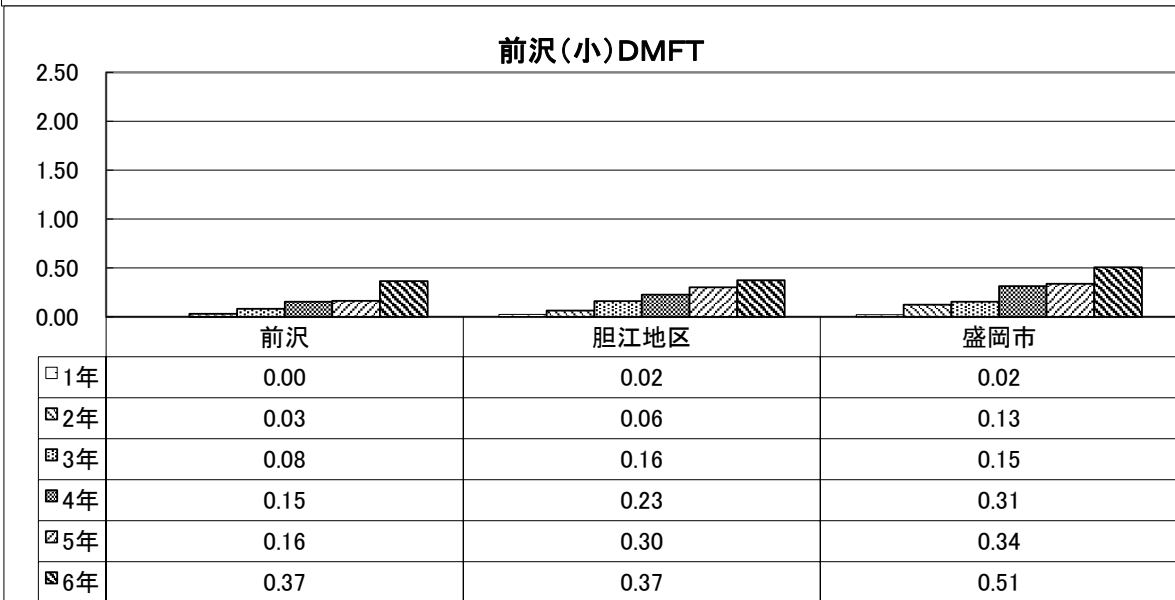
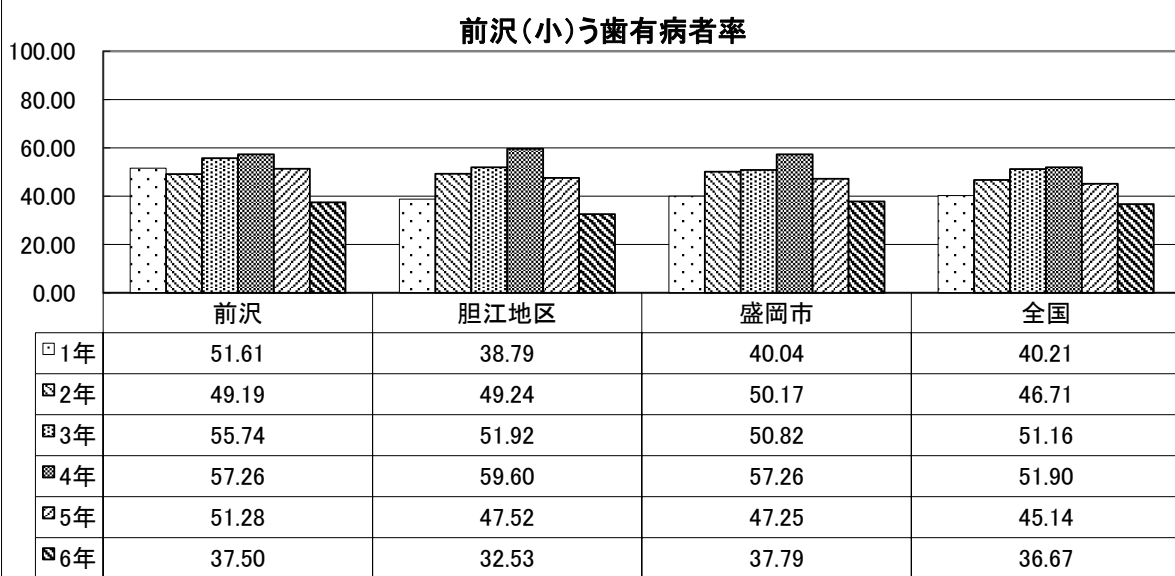
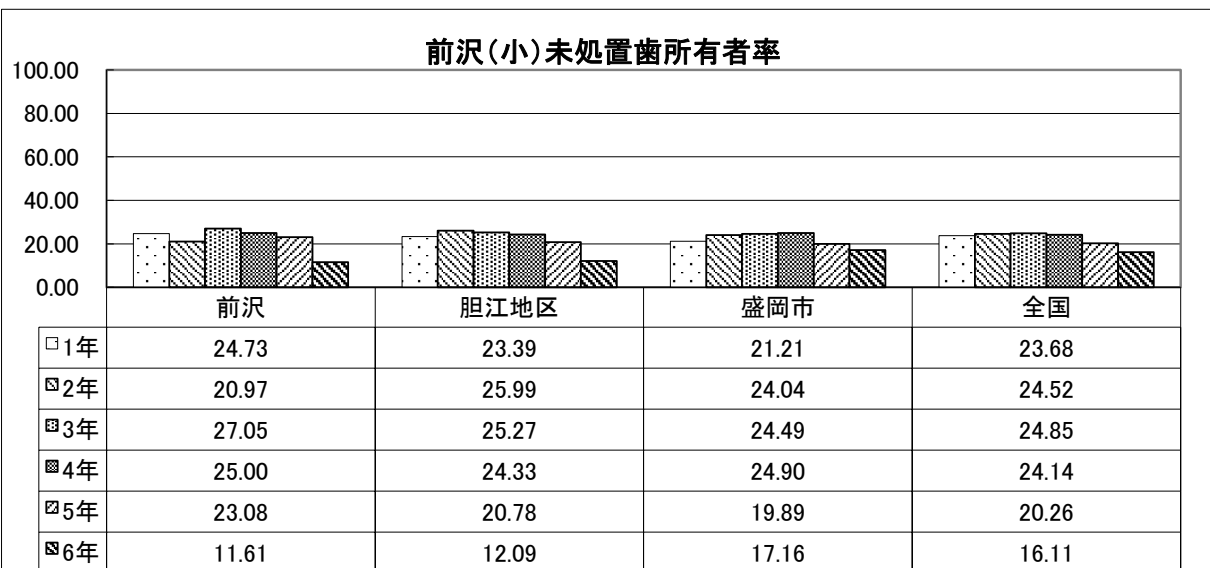
胆沢(小)う歯有病者率



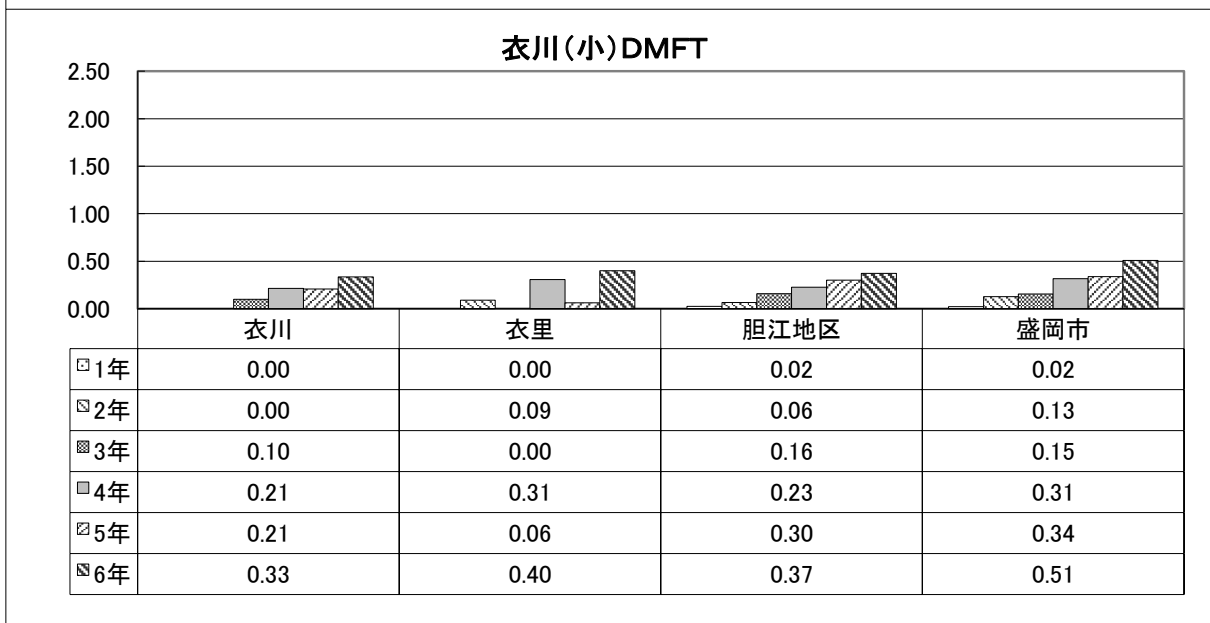
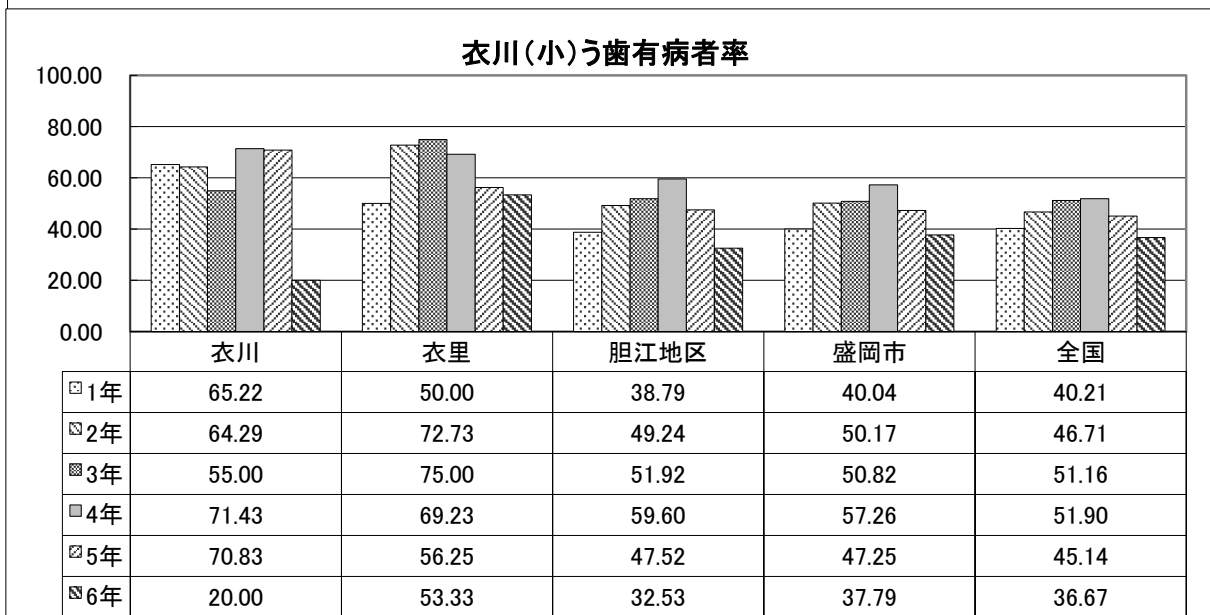
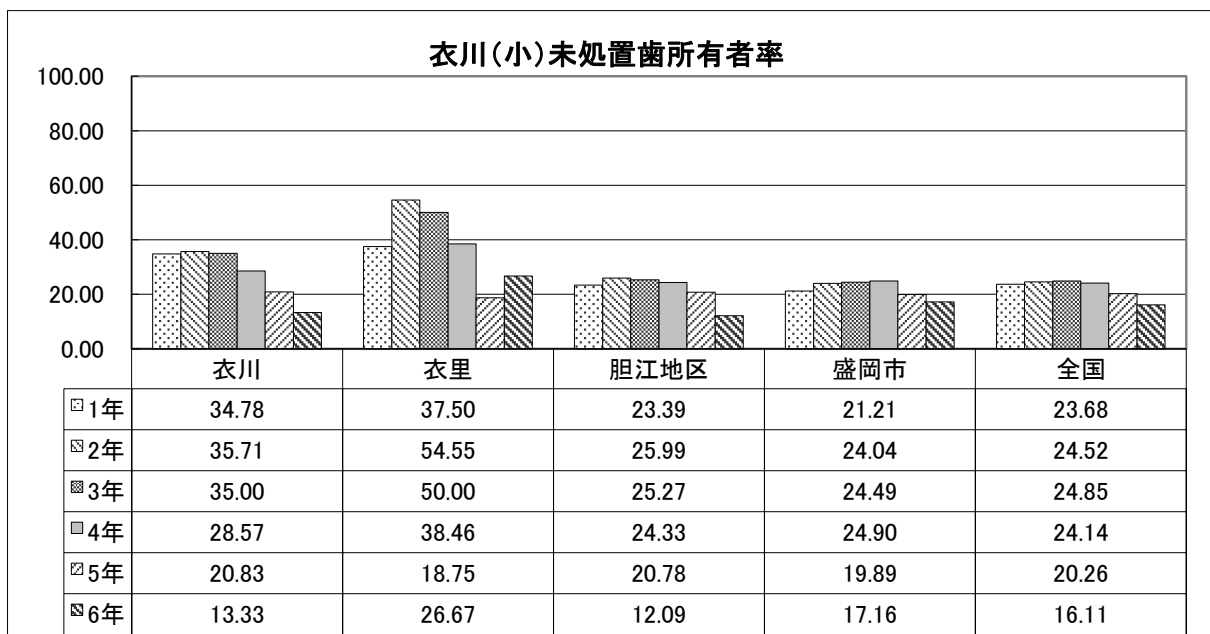
胆沢(小)DMFT



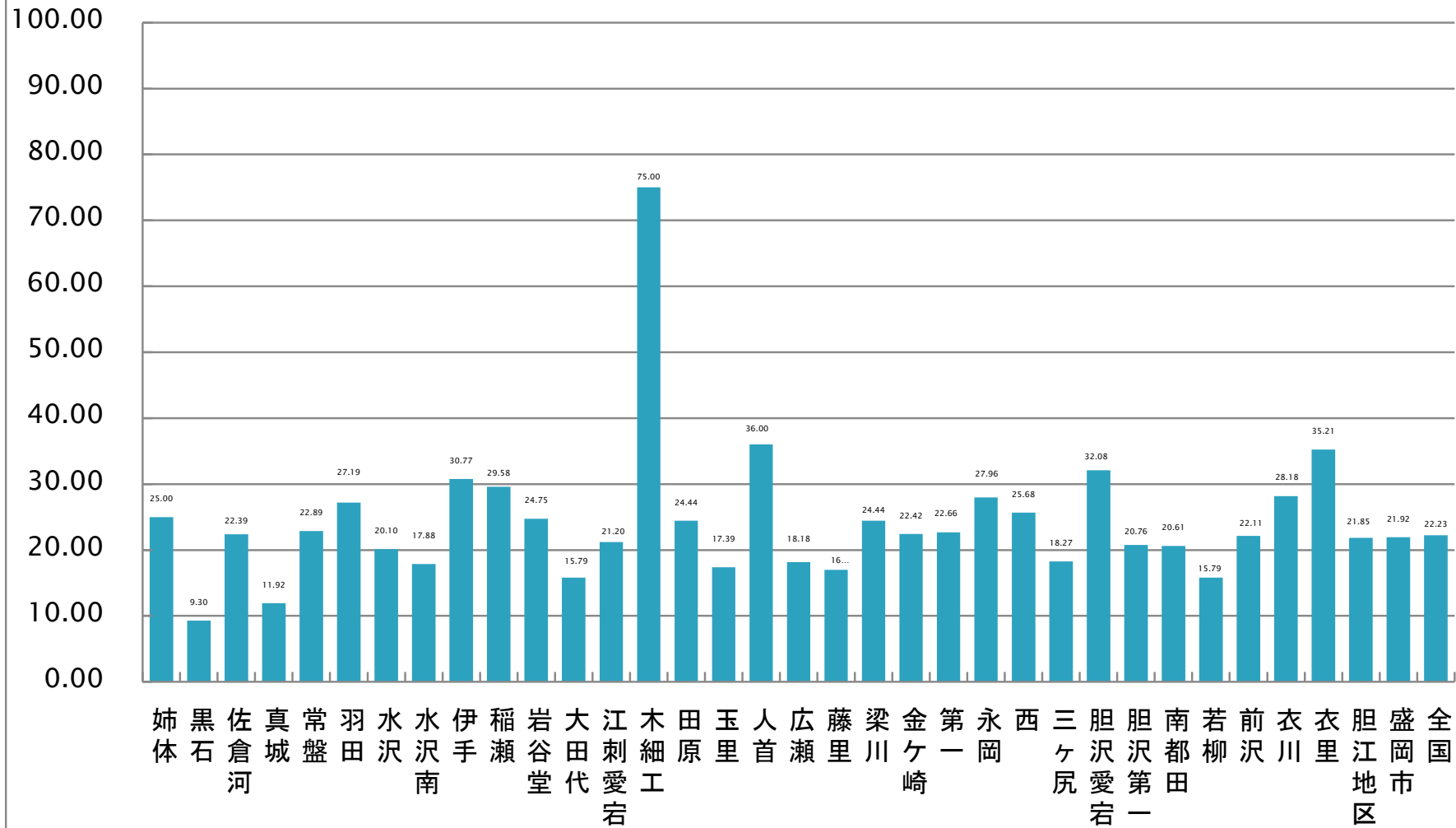
学校別(小)



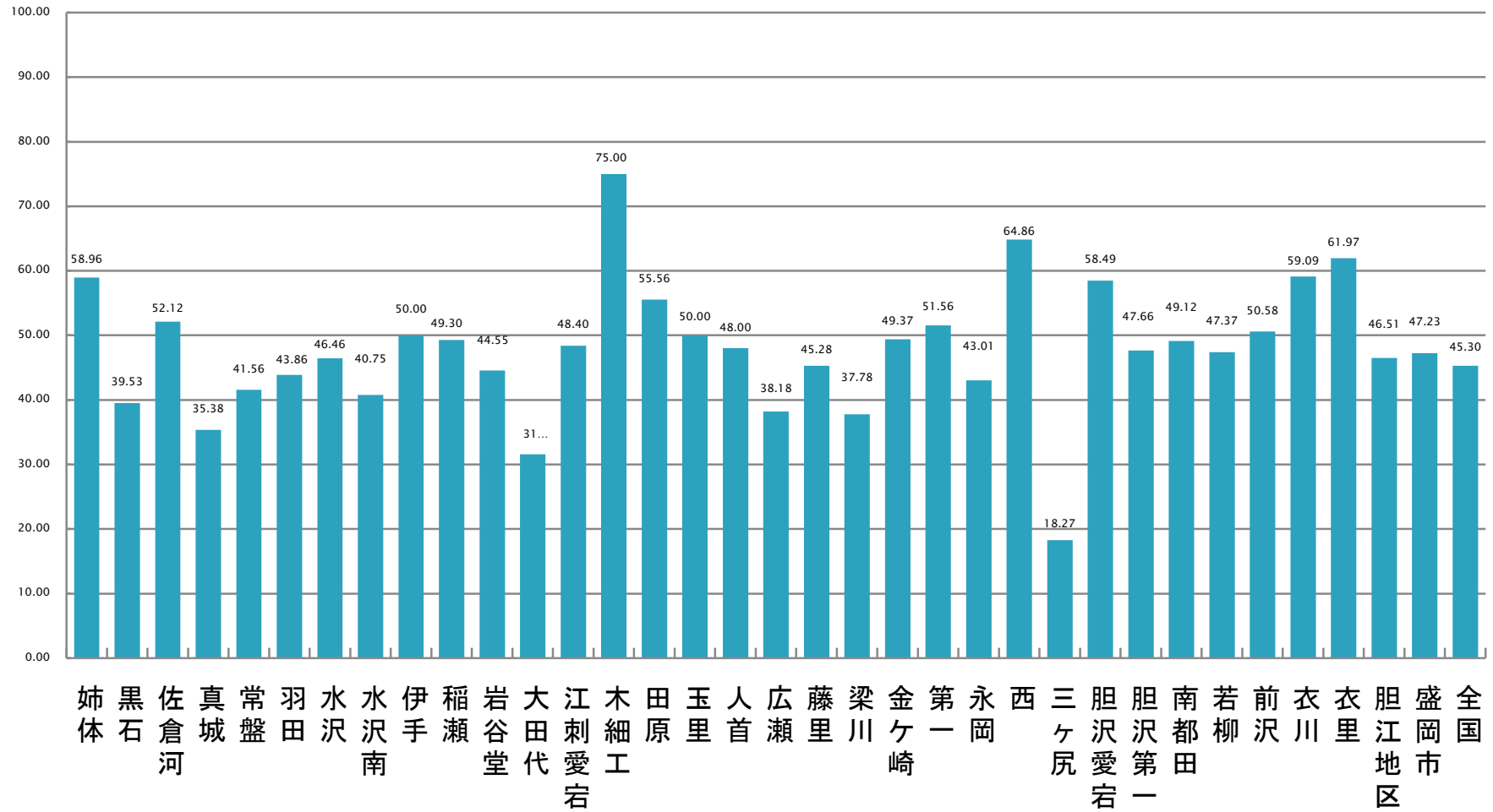
学校別(小)



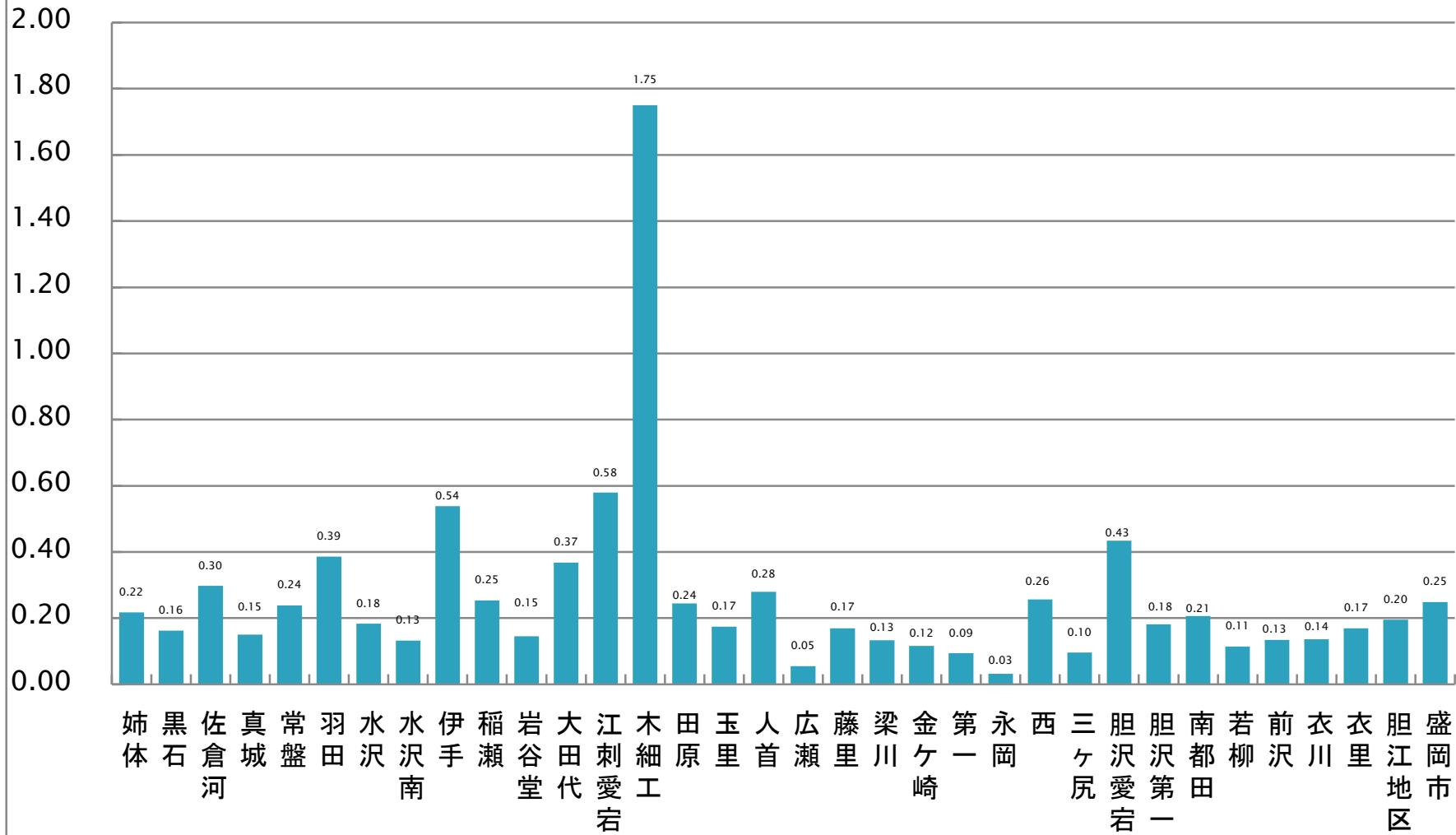
学校別(小)未処置歯所有者率



学校別(小)有病者率

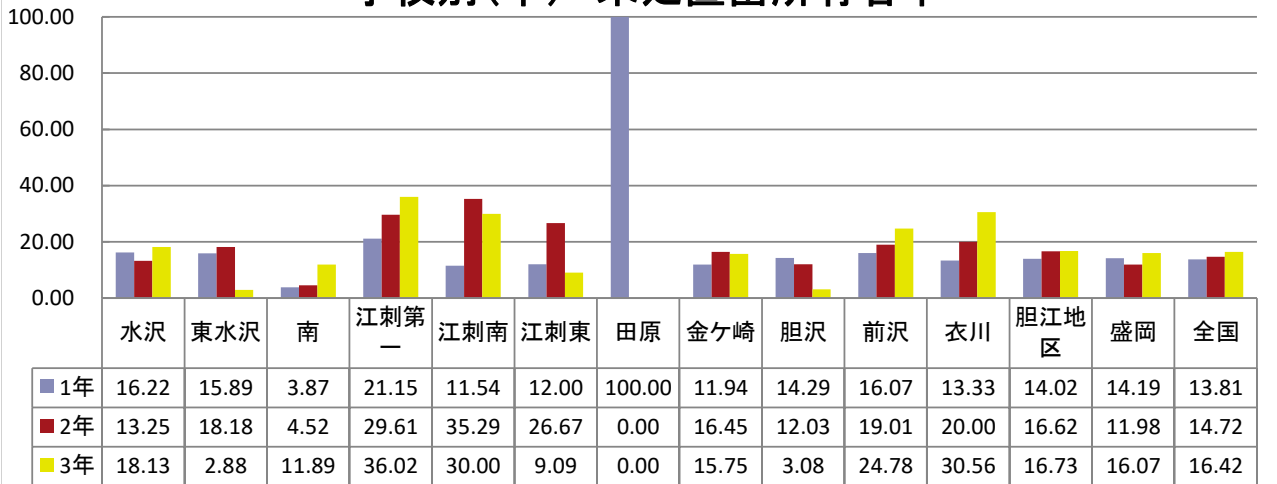


学校別(小)DMF

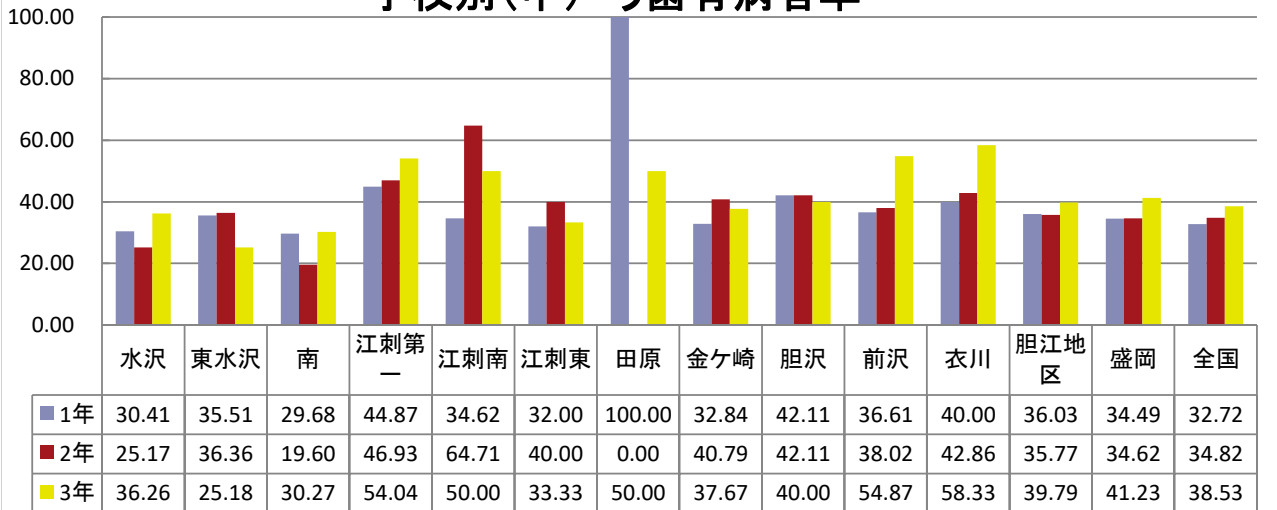


学校別(中)

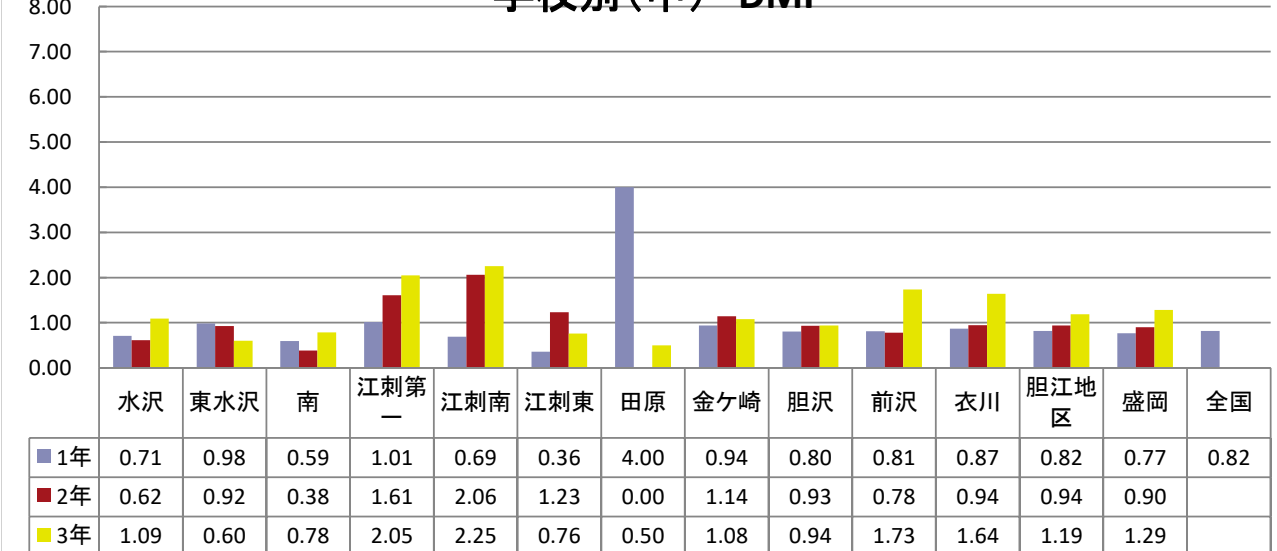
学校別(中) 未処置歯所有者率



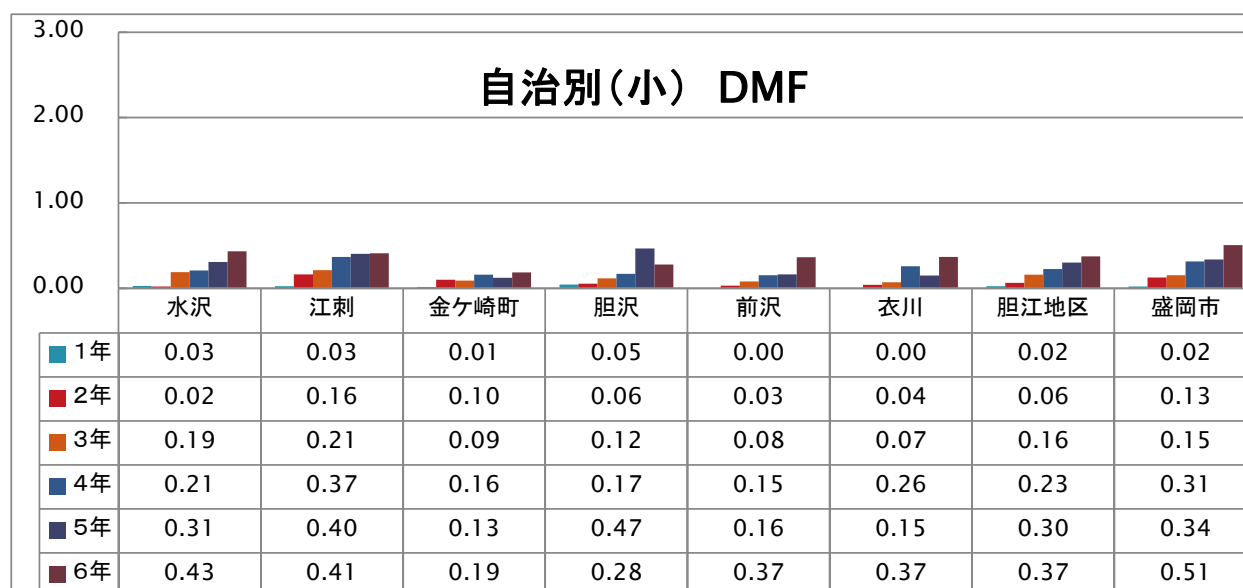
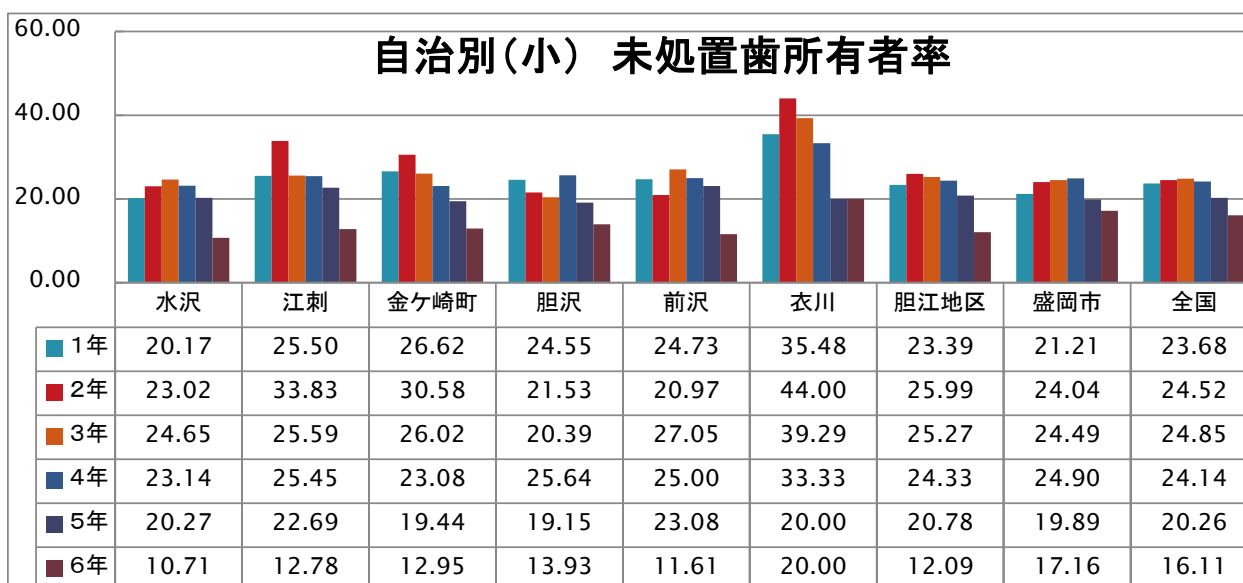
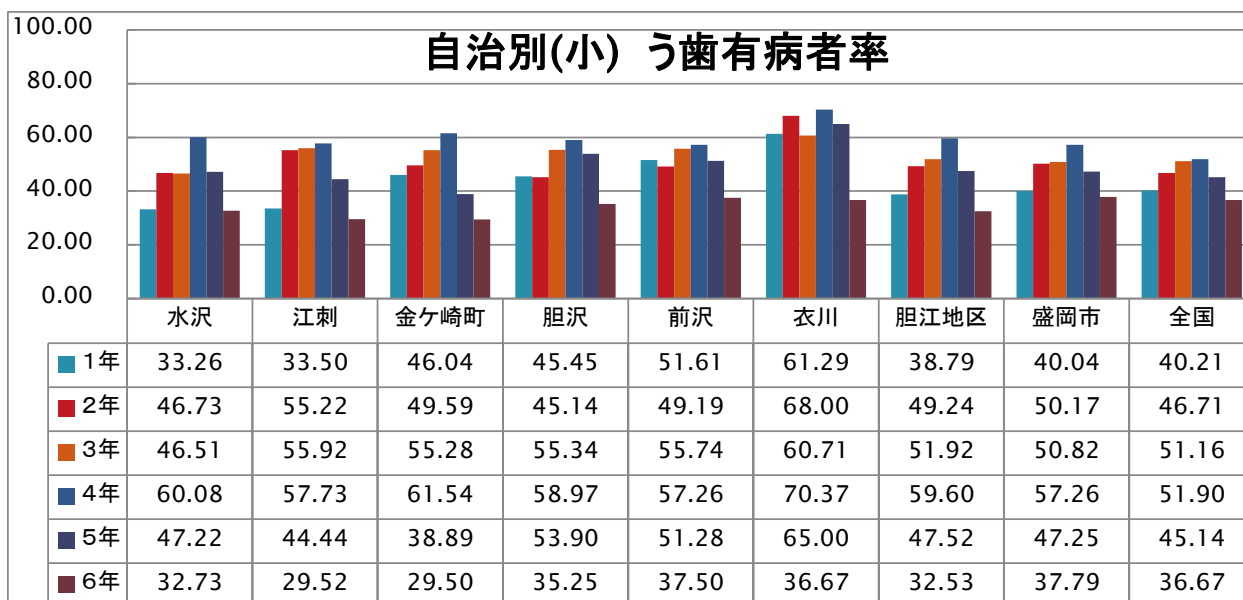
学校別(中) う歯有病者率



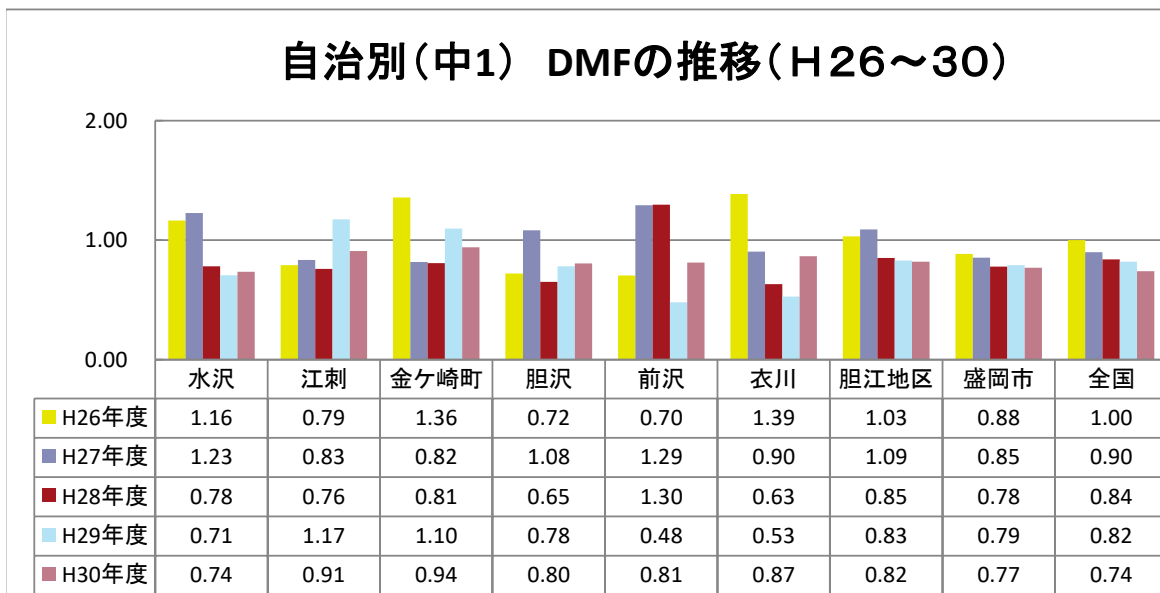
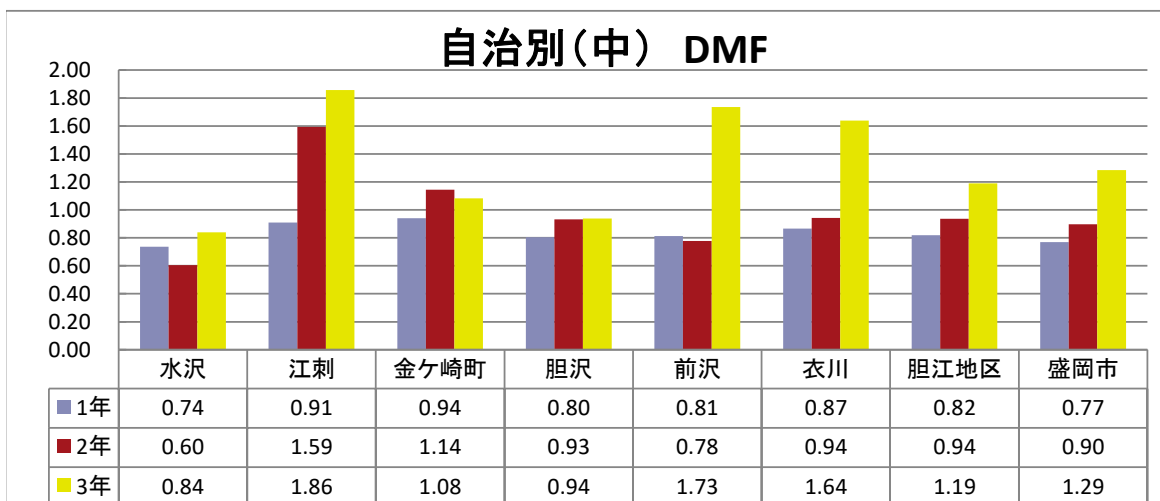
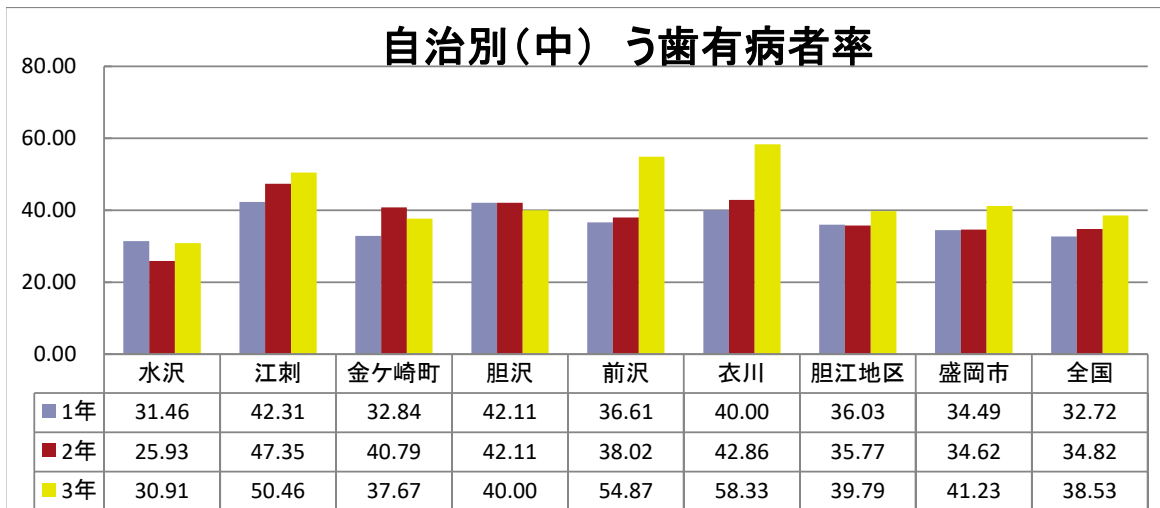
学校別(中) DMF



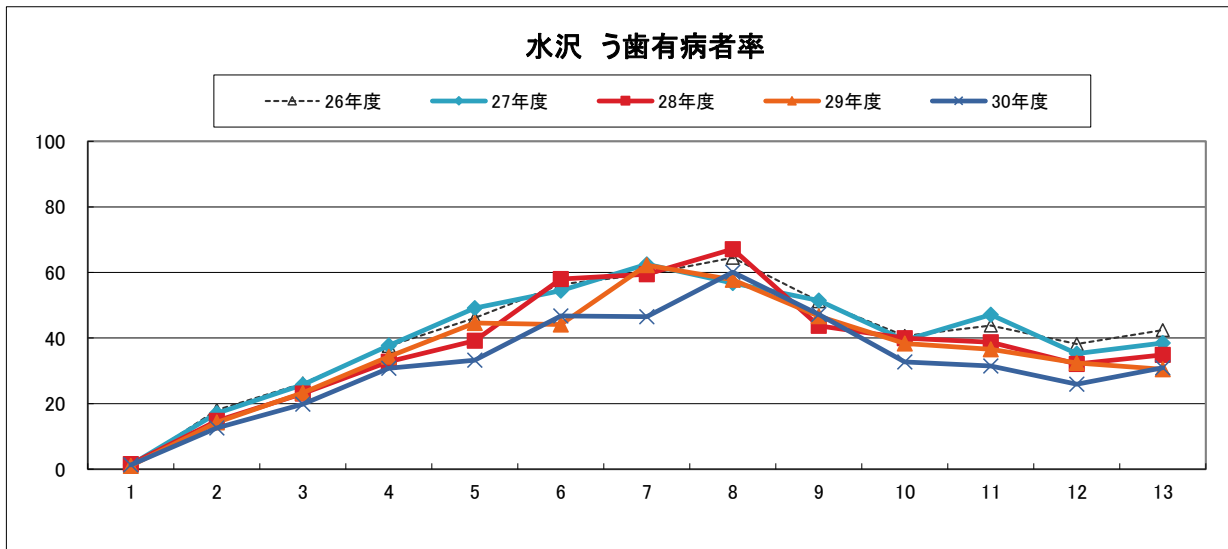
自治区別(小)



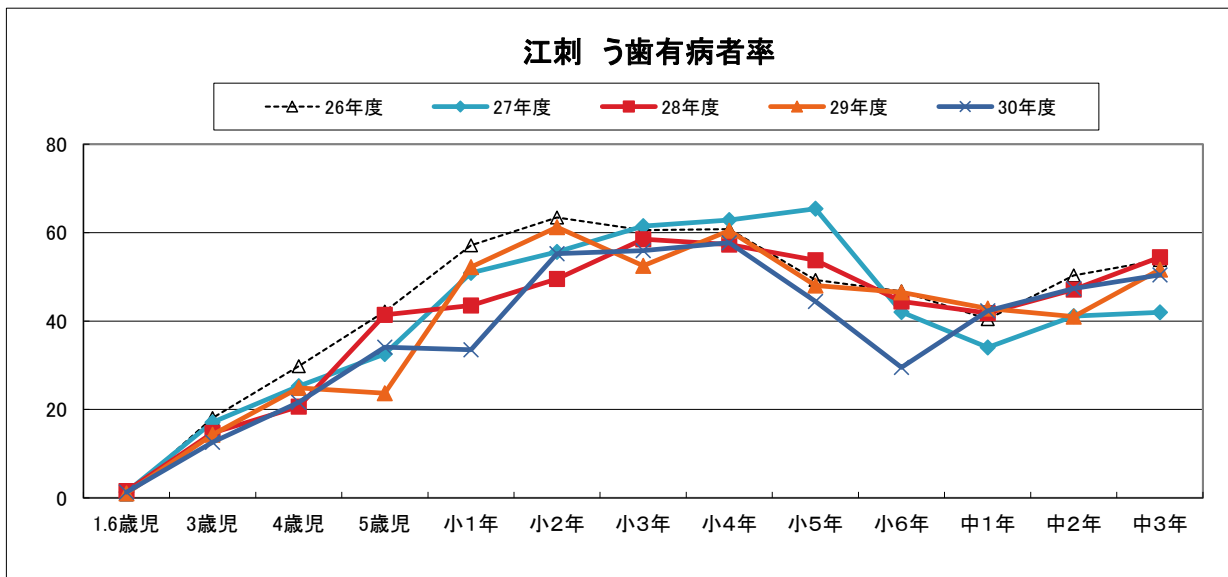
自治区別(中)



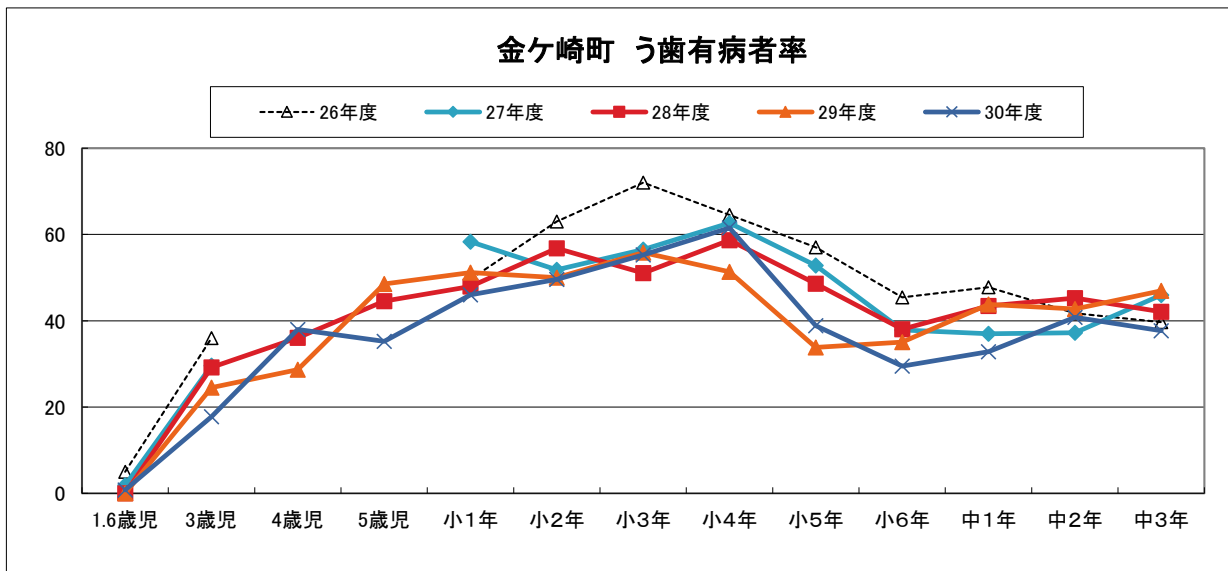
1.6歳児～中学3年までのう歯有病者率



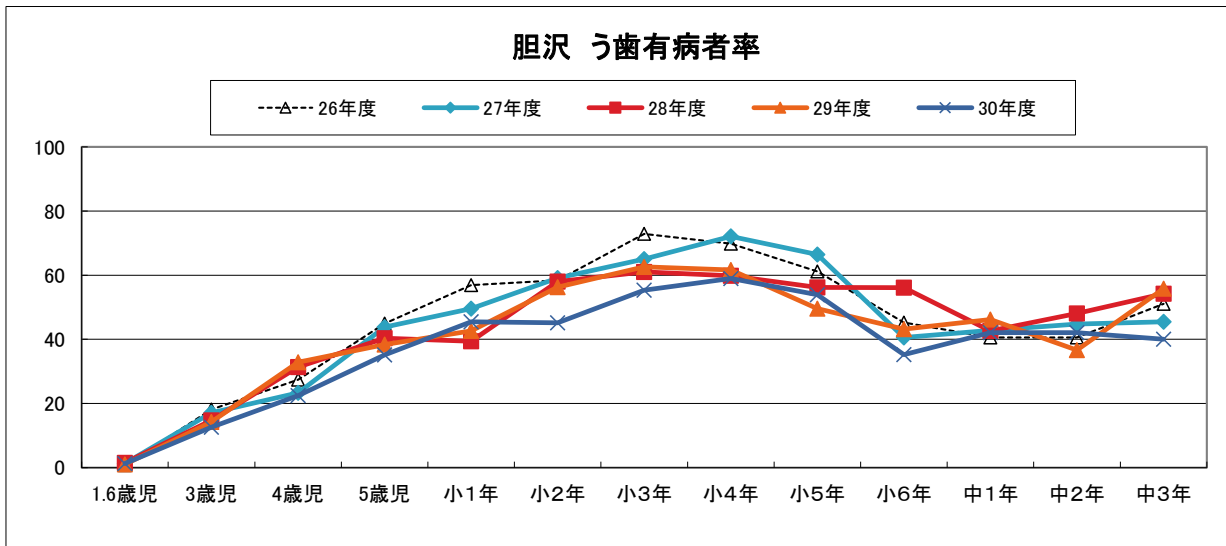
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



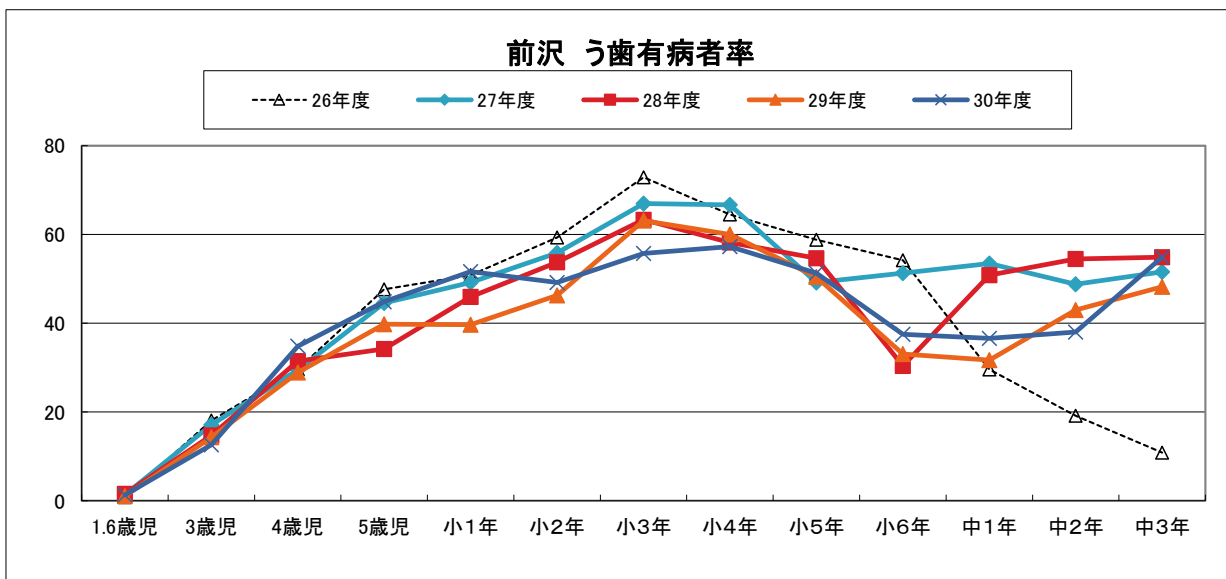
注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



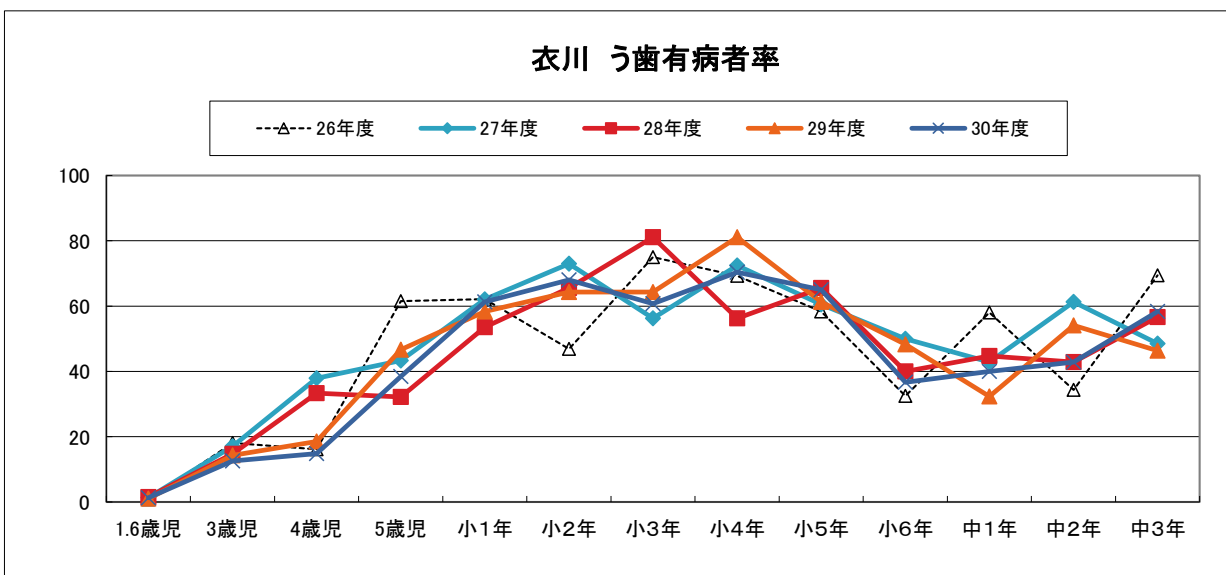
1.6歳児～中学3年までのう歯有病者率



注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ

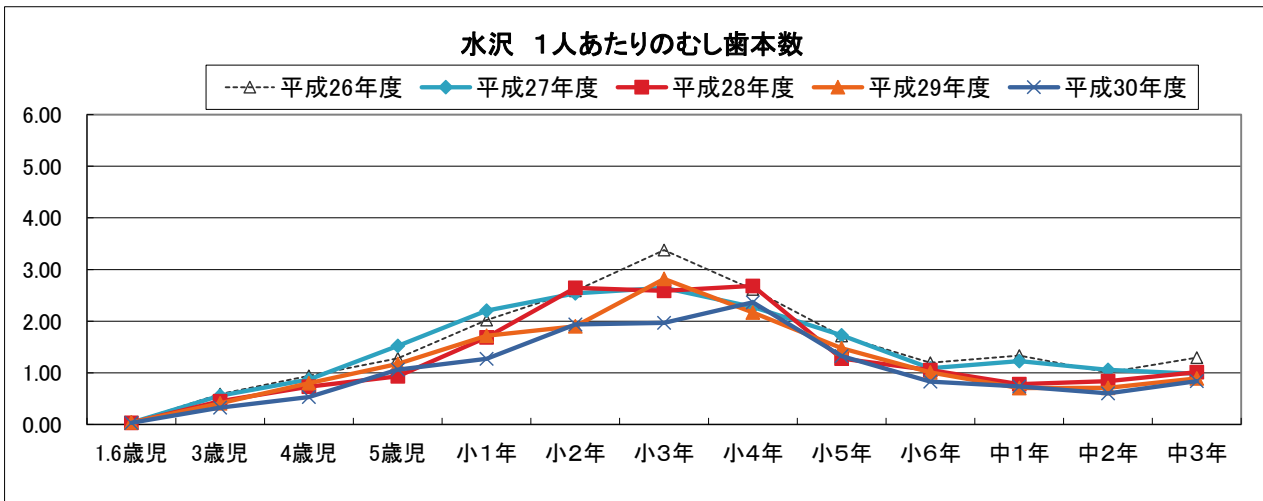


注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ

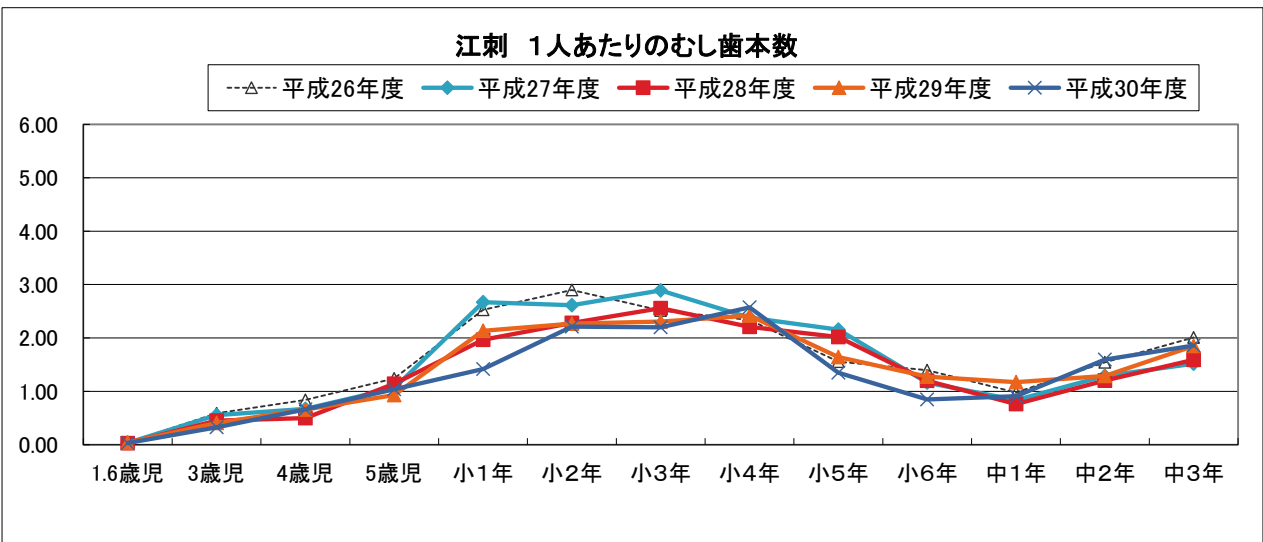


注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ

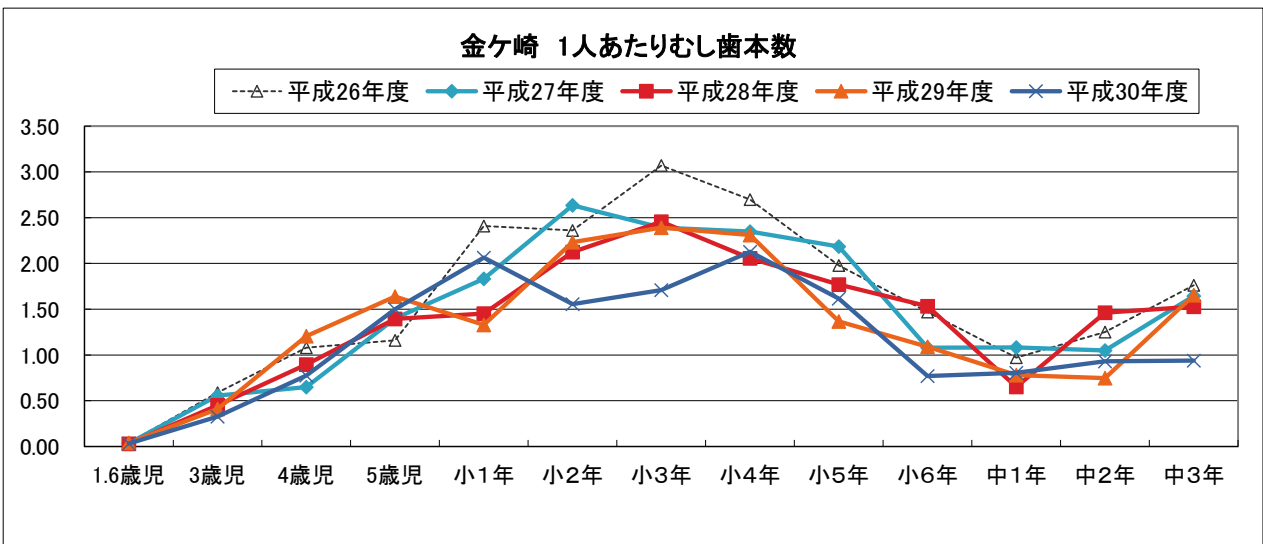
1.6歳児～中学3年までのむし歯本数



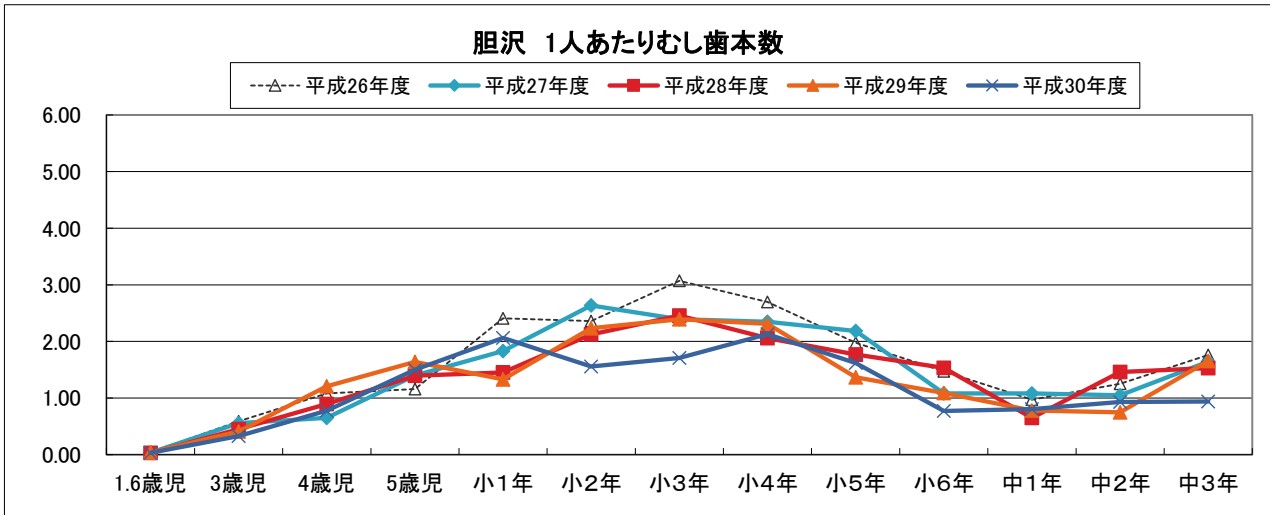
注)1.6歳、3歳は奥州市のデータ



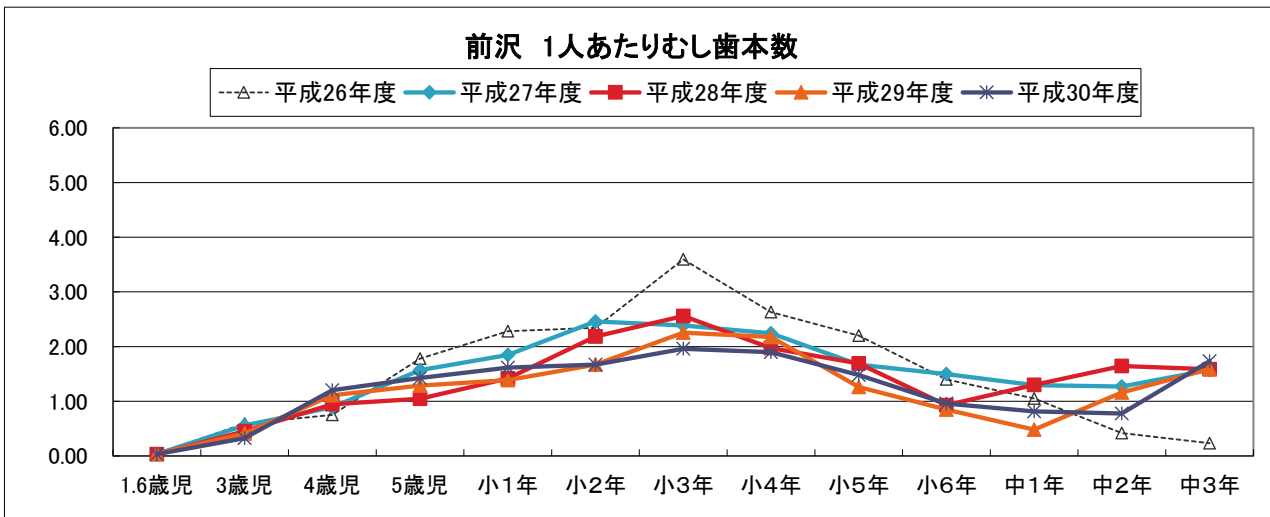
30 注)1.6歳、3歳は奥州市のデータ



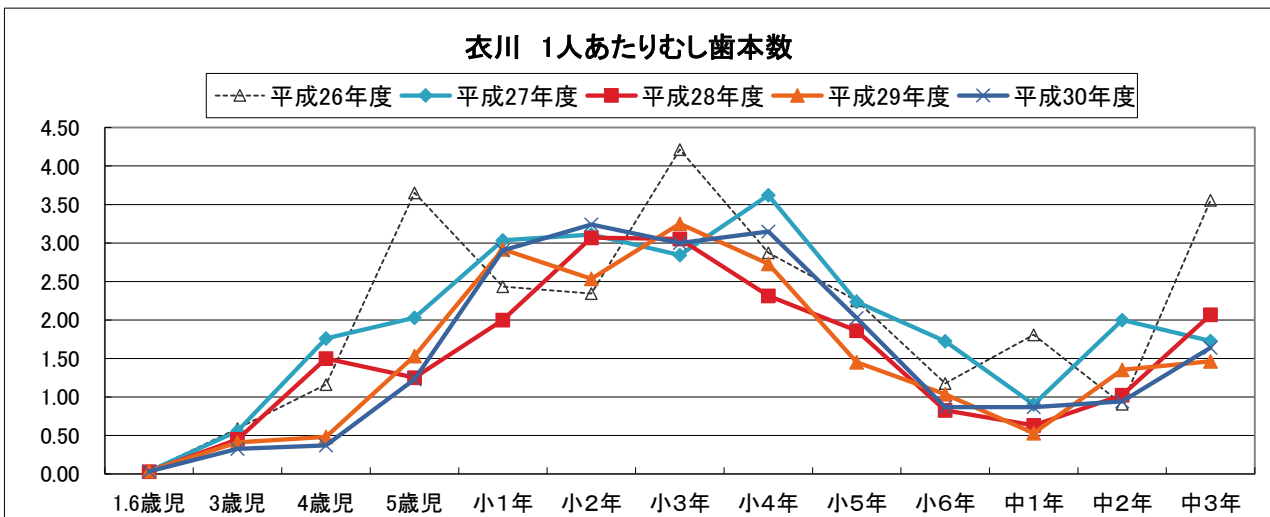
1.6歳児～中学3年までのむし歯本数



注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ



注) 1.6歳、3歳は奥州市のデータ

編集後記

胆江地区歯科保健データ集も今回の平成 30 年度版で 21 冊目となりました。検診データの収集にご協力いただいた幼保、小中学校の関係者の方々、市、町の担当者の方々に、心から感謝いたします。

本年度より、従来の紙ベースからデジタルベースとして PDF で配布することとなりました。利便性の向上が図られることを期待しております。

巻頭の歯科保健目標と検診結果からの考察では、昨年と同様の傾向にあると思われました。

- ・ 1 歳 6 か月・3 歳児とも良好に推移。特に昨年は達成できなかった 3 歳児のう蝕有病者率が H34 の目標値に到達しました。
- ・ 12 歳児の永久歯のむし歯有病者率の減少（H34 までに 28% へ）への目標について、全国 32.72%（昨年 34.87%）、岩手県 34.9% に対して当地区が 36.03% と目標値には至りませんでした。また一人平均むし歯の本数でも同様な傾向にありました。

このことから、乳幼児は良好であっても、12 歳に至ると逆転してしまう傾向にあり、永久歯のむし歯有病率の減少に向けた対策が必要と考えられます。

社会（経済）的因子によって、う蝕有病状況に健康格差が生じていることや、多歯に渡るう蝕保有者の増加も報告されています。家庭環境の複雑さも考慮に入れるとなると困難さが増すと思われませんが、集団全体でのリスクを低減させるう蝕予防対策が必要となりそうです。

令和 2 年 1 月

編 集 ・ 発 行

（一社）奥州歯科医師会 公衆衛生委員会

高橋 元、岩淵 直泰、吉田智哉、吉田 克則

佐々木 秀、桜庭 寿、八重樫浩二、千田太山、大石 裕